

共栄児童館 事業評価表

※事業区分「1」…仕様書事業 事業区分「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29 年度	H30 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 すくすくクラブ	月2回程度	10	14	13	16	142	0	0	141	283	16	241	0	0	236	477	・29年度から始めた「新米ママたいむ」の参加者がクラブに入ったことも有り、参加者が増加。わらべうたを取り入れる等、親子がじっくり関わることができる題材を選んだ。緊張しない母親同士の付き合いをしてもらうため、歓談できる時間を設け、友達ができたと言われた。
		② 乳幼児クラブ 1歳 にこにこクラブ	月2回程度	10			16	89	0	0	91	180	16	92	0	0	90	182	・言葉、体格等月齢によって発達の差が激しい時期なのでどの子ども同じように参加できる遊びを提供した。立つ、跳ねる、走るなど簡単な動作から始めた「ごっこ遊び」、ダンボール工場から新品で廃棄される物を譲り受けて行った「おうち作り」などがある。毎回子どもの集中が切れないように声かけするなど注意を払った。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ちびっこクラブ キンダークラブ	月2回程度	10			28	402	4	0	388	774	32	131	1	0	129	261	・もともとこの年代の子が少ない上に働き始めた母親が多く、参加人数が激減した。しかし一人ひとりに向き合い、手の込んだ内容にできた ・ちびっこクラブでは、感触遊びを数回取り入れた。ゼリーや紙透き、落ち葉など自分の体温や触ることでは形が変化するものの不思議さを親子で味わった。 ・キンダークラブは、エアートランポリン、フロートR、段ボール迷路など、目で見て驚き、楽しくダイナミックに活動できるものを用意した。また体操も、途中で探し物をするというお楽しみを加え、子ども達の緊張をほぐし、笑顔で参加できるきっかけとした。
	小 計						60	633	4	0	620	1237	64	464	1	0	455	920	
	2	④ 自主事業 ・英語であそぼう、リトミック ・おさんぽクラブ ・タンタカたんじょうび会 ・季節に合わせた行事 きらりん七夕会、水遊び 秋まつり、芋煮会 ハッピーハロウィン きららクリスマス会 ぱらっぱまめまき会 ふわりんひなまつり会	随時		13	15	52	572	0	0	531	1103	70	533	17	0	538	1088	・おさんぽクラブは、深山の森、滝呂球場、寒暑の時期にはバロー文化ホール、虎溪用水広場などへ行った。おとどけセミナーや健康推進員の力を借り、市内の公園や公共施設を紹介できる良い機会となっている。 ・季節行事は、秋祭りや芋煮会など、29年度とは異なる物も取り入れた。行事の中に季節に合わせたデザート、軽食作りなども織り交ぜ、参加した母親同士が飲食しながら交流し、情報交換などをする姿が見られた。
	小 計						52	572	0	0	531	1103	70	533	17	0	538	1088	

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29年度	H30年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
児童を対象とした事業	1	① 一輪車クラブ	月2回程度	6	12	15	20	2	278	0	3	283	24	0	330	0	0	330	・一輪車クラブは、各々が積極的に意見交換し、活発に活動できた。特に一年生はクラブ外でも練習に励み、みんなが乗れるようになった。個々の「もっと見てほしい」気持ちを抑えさせるのが大変なほどだった。こうした子ども達の努力が実り、児童館まつり、共栄文化祭などの本番は堂々とした演技ができた。 ・子どもスタッフは、参加者も増え、充実した活動を行うことができた。保育園、施設訪問、地域の敬老会参加のために銭太鼓を子どもたちに提案した。自分で銭太鼓を作成し、「げんこつやまのたぬきさん」を歌いながら、太鼓を捌いた。大きな声で歌う姿にお年寄りたちは目を細めて見ていた。職員の提案を子どもたちの意見で膨らませ、よい出し物になった。また、6年男子が「私の主張大会」で子どもスタッフについて発表し、多治見市の本選に出場でき、スタッフは皆が自分のことのように喜んだ。彼を含めた6年生2名は教育長賞詞を頂いた。
		子どもスタッフクラブ	月2回程度	6			18	28	64	0	116	208	19	16	184	0	104	304	
		チャレンジキッズ	月1回	6			10	0	128	0	0	128	10	0	80	0	0	80	
		② ボランティア活動 ・ありがとデー	月1回程度				17	0	39	1	0	40	13	0	35	0	0	35	
	小 計						65	30	509	1	119	659	66	16	629	0	104	749	
	2	③ 自主事業 ・チャレンジ番付（毎月） ・新1年生あつまれ ・作陶体験 ・一輪車クラブ交流会 ・子どもスタッフまつり ・季節に合わせた行事 ワンダーデイキャンプ 科学工作 小学生水遊び ハロウィンパーティー クリスマス会、節分会	随時		12	15	35	13	350	5	61	429	35	22	409	3	51	485	・30年度は「新1年生あつまれ！」をきっかけとして、多くの1年生が来館した。徐々に3、4年生も多く来館し、デイキャンプ、ハロウィン、豆まきなど多くの行事に参加してくれた。それぞれの行事には、まちづくり市民会議、民生委員の方々に参加してもらった。そうすることで、親や先生外の大人との関わりを体験でき、社会性を学ぶことができたと思う。
小 計							35	13	350	5	61	429	35	22	409	3	51	485	

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29年度	H30年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり 「えんじょい！わっしょい！ じどうかんまつり」	10月27日	1	14	15	1	28	65	3	71	167	1	32	86	3	74	195	・1年以上前から依頼していたコマ名人を招くことができた。小さなコマが花火のように回る、紐伝いに上がって来るなど、子ども達は身を乗り出して見ていた。民生児童委員、母親クラブ、中学生に協力してもらい、ゲームコーナー、おばけやしき、模擬店など大盛況であった。子どもを中心とした地域のコミュニティとしての役割を果たすことができた。
		② 移動児童館 高田焼きまつり 20区夏祭り 共栄文化祭	4月8日 7月12日 11月25日				3	74	199	1	82	356	3	65	223	2	82	372	・移動児童館のいずれも、児童館の持ち味であるアットホームな雰囲気を出すことができた。手作りのゲームや、事業で使用した作品を公開し、多くの方に児童館の活動をPRできた。会場では、一方通行の情報発信ではなく、顔を合わせてコミュニケーションを取ることができた。
	小 計						4	102	264	4	153	523	4	97	309	5	156	567	
	2	③ 自主事業 ・館庭菜園 ・親子木工工作 ・ガサガサ探検隊 ・母、父、敬老の日プレゼント作り ・花もち作り ・竹とんぼ作り ・うながっぱ うちわ配布 ・本とおともだちになるための一週間	随時		13	15	33	105	147	15	139	406	40	132	188	0	253	573	・30年度は新規事業の館庭菜園、うながっぱうちわ配布などで参加者が増えた。 ・館庭菜園は肥料袋を使用した野菜作りを行った。大根、里芋、とうもろこし、夏前にはきゅうり、トマトなどの野菜を植えた。子ども達は、作物が育つ様子をこまめに観察し、水やりなどの世話もした。食育と共に農業への関心が育つ事業となった。 ・夏休み行事の「親子木工工作」は、父親の参加が殆どで、家族でひとつのものを作り上げるという一体感が伝わってきた。
	小 計						33	105	147	15	139	406	40	132	188	0	253	573	
中高生事業	1	① 中学生ボランティア ・デイキャンプ ・ガサガサ探検隊・幼児水遊び ・児童館まつり・共栄文化祭	随時	3	13	13	9	0	8	56	0	64	9	0	4	36	0	40	・陶都中学校に依頼し、多くの行事にボランティアとして参加してもらった。そんな中、学校を休みがちな中学生の母親が来館した際ボランティアを薦めてみた。当日は、人に必要とされる喜びを持ってもらいたいと、仕事をたくさんお願いし、大いに褒めた。彼も積極的で、いきいきとした様子だった。今後もこのような機会を持てるように学校等に働きかけていきたい。
		小 計					9	0	8	56	0	64	9	0	4	36	0	40	
	2	② 自主事業 ・プレパパ・プレママ体験 ・教えて中学生 ・中学生ハロウィン	随時		12	15	3	0	0	11	0	11	4	1	6	10	1	18	・プレパパ・プレママ体験では、参加してくれた母親の好意でオムツ替えや着替えを実際にやってもらうことができ、体の柔らかさ、匂いなども敏感に感じ取ったようだった。この体験を通して、出産育児の偉大さを感じてもらいたい。
		小 計					3	0	0	11	0	11	4	1	6	10	1	18	

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H29	平成29年度の参加人数					実施回数 H30	平成30年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H29 年度	H30 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 子育て相談 ・子育て相談日	月1回	12			12	3	0	0	2	5	12	4	1	0	6	11	・相談日に於ける相談は少なかったが、様々な場面で相談を受けている。殆どが子育てについてだが、小学生が友達関係について相談してくる時もあった。どんな些細なことも時間をかけて相槌を打ちながら傾聴している。
		② 講習・講演・他連携 ・わんぱくまつり ・赤い羽根共同募金配分金事業 「どすこい！ じどうかん相撲体験」 ・避難訓練とポリ袋クッキング ・歳末助け合い共同募金募金 「猿回し シゲ & モンタ」	4月22日 6月30日 11月16日 12月1日	2	13	14	4	27	30	1	41	99	4	32	42	2	53	129	・単館で開催するのは不可能な行事を、連携する事で行うことができた。相撲や猿回しという日本古来から受け継がれた文化によって、幼児から年配の方まで笑顔にできたことは、素晴らしいと感じた。 ・30年度初めて、非常食作りとして「ポリ袋クッキング」を行った。「家庭ではなかなか試すチャンスがなかった」と喜んでもらうことができた。
		② 母親クラブ ・共栄母親クラブ	月1回程度				12	117	0	0	123	240	11	70	0	0	147	217	・29年度に発足した共栄母親クラブは、20人以上の会員で30年度も活動した。施設訪問、幼児室おもちゃ清掃、講習会など自分達のできること、勉強したいことをいきいきと行った。新米ママたいむへの参加では、職員や保健師の知らない子育て情報や使わなくなったおもちゃ、服などの提供もあった。
	小 計						28	147	30	1	166	344	27	106	43	2	206	357	
	2	③ 子育て 自主事業 ・新米ママたいむ ・支援児あそびの広場	月1回程度		13	15	10	73	1	0	75	149	11	80	5	5	91	181	・29年度から始めた親育ち4・3・6・3関連事業「新米ママたいむ」は30年度も多く参加があった。「ここに来るとほっとします」という感想もあり、初めての子育てをする母親達の息抜きの場になっていることが伺えた。今後も子育てを楽しむことができるように支援をしていきたい。 ・支援児あそびの広場を実施し、大きな紙相撲を行った。力士を人数分用意したので、子ども達はそれぞれ自分で顔を書き、白熱した試合になった。
	小 計						10	73	1	0	75	149	11	80	5	5	91	181	